



福祉施設 広報誌

木もれ陽

No.98

2025.秋号



みなみがた荘入所者様の作品

木もれ陽……

木立の合間からやさしくもれる光

木立の中の生命を育てる光

それは多くの皆様からの優しく支えられた愛である

「やさしさと愛情」「やわらかいぬくもり」

「あたたかい思いやり」である

岡山県済生会の理念とビジョン

～切れ目ないサービスのために～

岡山県済生会の理念

あらゆる人々に手をさしのべ寄り添う済生の心で
信頼される医療・保健・福祉のサービスにつとめます

岡山県済生会のビジョン

社会におけるポジション

1. あらゆる人々に信頼されるパートナーを目指し、良質・安全で、潤いのある医療・保健・福祉サービスを提供する岡山済生会トータルライフケアシステムを実現します。

事業経営の将来像

2. 済生会グループの総合力を活かし、地域との連携のもと、医療から介護に至るまでの一貫したサービスが提供できるネットワークを構築します。

組織の人のあり方

3. 適切な人事評価やキャリアアップ支援など、職員が誇りとやりがいを持てる組織を目指し、職員満足と健全経営の両立を図ります。

目

次

- ライフケアセンター…………… p 2 ～ 9
- 憩いの丘 …………… p10～11
- 備中荘 …………… p12～13
- 宇垣荘 …………… p14～15
- 玉松園 …………… p16～17
- 新人紹介 …………… p18

ライフケアセンター

施設全体行事



施設慰問



コミュニティカフェ



OPEN

盆踊り大会



8月22日、日中のうだるような暑さが少しゆるんだ夕刻からライフケアセンターの盆踊り大会がありました。いつもより早い夕食を終えて、いつもなら皆様各自居室に戻ってそれぞれに思い思いの時間を過ごしている…。ですが、今日だけの特別な非日常という極上の時間を体験。

どこか昭和ノスタルジーな気持ちにさせ、ウキウキとする気持ちが湧いてきます。職員も久々に浴衣に袖を通し入居者の皆様から「素敵ね」「良く似合ってる」と口々に言っただき、入居者様が写真撮影をして下さり、すっかりその気になって気分天上げで納まりました。やよいの里の姫7人集です(´▽´)

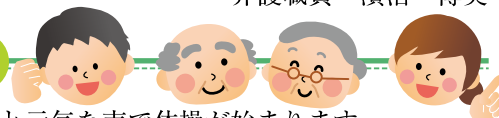


盆踊り大会では、気持ちの上では颯爽と華麗に舞っていましたが、実際には(;´Д`)トホホな感じになってしまったかもしれません。でも良いのです。(;´Д`)トホホな踊りでも入居者様が笑って楽しんで頂けたなら♡

会が終わり、ケアハウスの食堂で少し落ち着いて水分補給や、クーラーで涼んでいただいてからお部屋に帰って頂いたので、体調不良の方も出ず、夏を感じた夜になり良かったなと思いました。

介護職員 濱治 博美

集団体操～日常の一コマ～



「皆様、こんにちは！これから30分間頑張って体を動かしましょう。」と元気な声で体操が始まります。

週2回の体操に20名くらいの方が参加されます。体操に合わせて服を着替えて参加される方もおられます。積極的な様子が感じられます。

上半身から下半身へと順番に体操をしていきます。体操の半ばに認知機能低下防止の為コグニサイズを取り入れてます。戸惑いながらも皆さん一生懸命取り組まれます。頭と体を同時に動かす事は大変で看護師も利用者の前で体操するのに自宅で頑張って練習をしています。(笑)

30分間体操をすると皆さんスッキリとした表情をされます。循環も良くなり顔色良好です。

最後は皆で元気に過ごして行こうね!!の気持ちを込めて大きな声で「やよいの里、エイ、エイ、オー!!」と拳を高く上げ終わりになります。

これからも頑張って体操をし、健康寿命を延ばして欲しいと思います。

看護師 露無 今日子



☆ 学生さん来日 & 風船バレー ☆



10月15日に就実小学校の1年生から6年生の生徒さん(19名)が学習『高齢者の方に笑顔と元気を届ける』の為、交流会を開いてくれました。歌やダンスやクイズなど生徒さんたちが考えたプログラム、入居者の皆さんもほっこり、ニッコリとても癒される時間を過ごしました。



10月30日には風船バレー大会があり白熱した戦いでしたね!(^^)!やよいの里は、練習の成果が十分に発揮でき、優勝する事が出来ました(^O^)/ 皆様お疲れさまでした★

介護職員 山下 のり子



なごみ苑

有料老人ホーム(混合型特定施設)

《なごみ苑》 喫茶の日》



8月19日はなごみ苑の喫茶の日でした。今回は高島屋のフルーツアンシャンテさんの「ジュレ・オレンジ」というオレンジがのったデザートを取り寄せ致しました。

「冷たくて美味しいわ」「お店に來たみたい」との声が上がりました。

そしてもう一品は、かきたねキッチンさんの海老味と枝豆味の「かきの種」をご用意させていただきました。

今回はお取り寄せだったので、いつもとは違った雰囲気を感じていただくことが出来ました。デザートはボリュームがありましたが、皆様「おいしいわ」と言って完食してくださりました。今後も喫茶の日を楽しんでいただけるようないろいろと考えていきたいと思います。



《運動会》

なごみ苑運動会

10月14日(火)に毎年恒例のなごみ苑運動会を行いました♪

今年は、10名の方々にご参加いただき、青チームと桃色チームに分かれて競技を行いました。

まずはラジオ体操で体をほぐした後に、「ボール渡し」と「輪っか送り」のゲームをしました。足だけで輪っかを隣の方に渡すので、足がつりそうになり大苦戦(笑)

体が温まったところで、毎年大盛り上がりするサッカーゲームに突入!! 職員の応援の声にも負けないほど皆さん大声を出され、ボールの取り合い!!(笑) 普段は挙がらない足がとても高く挙がっていました。水分補給、両チームの応援合戦を挟み、最終競技となる玉入れです。

僅差で桃色チームが勝ち、総合得点でも桃色チームの優勝となりました(^^♪ 青色チームの皆さんも勝てずに残念でしたが、皆さんとても良い笑顔で楽しんでいたのが印象的でした。景品のお菓子の詰め合わせも喜んでいただき、職員一同嬉しく思います。

来年の参加も是非お待ちしております(^^)/



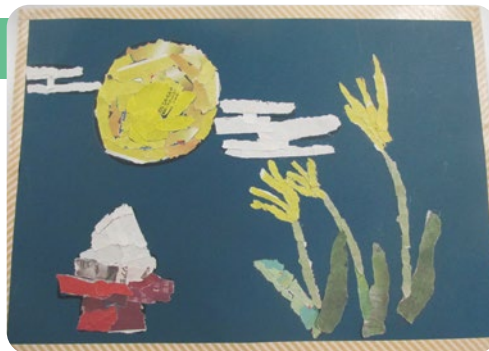
介護職員 新田 祐子・渡邊 由美

一緒に創作活動しませんか？

いよいよ秋も深まり、趣味活動がはかどる気持ちの良い季節となりました。皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。みなみがた荘では今年度から新たな取り組みとして機能訓練室での創作活動を本格的に開始しました。その様子を紹介します。

みなみがた荘の創作活動では、季節感のある工作、折り紙や貼り絵などを準備し、各利用者様が興味関心のある物を選び、取り組んでいただいています。こちらからはなるべく手や口を出さず、利用者様ご自身で考えて作業を行ってもらようよう意識しています。初めは参加者も少なかったのですが、季節毎の作品で機能訓練室が明るくなるにつれて、「これきれいな」「誰がしたん？」と興味関心を持ち、参加を希望される方が増えてきました。そんな最近では、新聞ちぎり絵が好評で、作業テーブルを数人で囲んで皆さん一緒に作業しています。新聞をちぎったり、絵を描いたり、見本を見ながら貼り進めたりそして応援したり、とその取り組みは様々です。利用者様同士の交流の場にもなっているようで、「良い色合いじゃなあ」「上手じゃわあ」「持って帰って娘に見せたんよ」「少し遠くから見たらええな」など他者への肯定的な発言や活動自体を楽しんでいるような発言がよく聞かれます。ショートステイの利用者様は「この前来た時、途中にしたのがあったじゃろう？」「家でも良い色の新聞がないか探すようになったんよ」など、活動への意欲が向上している様子です。部屋でお過ごしがちだった方も「明日は何時から？」と積極的に活動参加される様子もあります。その反響にこちらも少し驚いており、他の創作活動が提案できなくなっています。しばらく新聞ちぎり絵ブームが続くかもしれません。

これからも利用者様が心身とも健康に過ごせるよう、職員一同で楽しい活動参加を支援していければと思います。以上、みなみがた荘の最近の様子をお伝えしました。



お上手です！



こりやー
楽しいわー

みなみがた荘
創作風景です



こうやるんでー

こうやるんかー

和気
あいあいの

理学療法士 原田 一生

なでしこ苑

介護老人保健施設

《8月誕生会 うちわで風船バレー大会!》

なでしこ苑では8月8日(金)にて毎年恒例の誕生日会が開催されました。三村先生による開会の挨拶から始まった誕生会、本格的に始まる夏の暑さによる熱中症や新型コロナウイルスによる感染症の流行などについて、しっかりとした食事による栄養補給や水分補給による脱水防止、手指消毒等での感染防止など大切な話を聞くことが出来ました。

続いて行われたのは今回の主役となる8月誕生日の利用者様の紹介です。マイクを持っていただき一言挨拶では、元気いっぱい挨拶される方、恥ずかしがって俯いてしまう方もおられました。紹介の後、誕生日の利用者様にはプレゼント贈呈が行われました。今回のプレゼントはリボンで可愛らしくデコレーションされたクッションです。利用者様に渡すと「ありがとう!」と喜ばれている方もいました。

そして今回の誕生日会のレクリエーション、うちわを使つての風船バレーゲームが行われました。夏らしさを感じていただくために手ではなくうちわを使つての風船バレーは「男性チーム」と「女性チーム」に分かれて職員のアシストのもと始まりました。ゲームが始まるとうちわを使つての力加減が難しいのか、風船があらちちへと飛び回り利用者様もアシストの職員もてんでこ舞いになってしまいました!「これは難しいなあ〜」と言われる方もいました。何回か繰り返しているうちに利用者の方も慣れてきたのか、ラリーが続くようになり、力強くうちわで風船叩かれる方や、うちわをパタパタ仰いでアシストされる方もおり、盛り上がりを見せてくれました。どちらのチームも最後まで一生懸命参加していただき、楽しい時間を過ごすことが出来たのではないかと思います。これからもこういったイベントでは利用者様に楽しいひと時を過ごして頂けるよう企画の立案及び日々の業務に励んでいきたいと思いました。



介護職員 森永 虎汰郎

《~なでしこ苑 中庭便り~》



なでしこ庭園では「キンモクセイ」と「ギンモクセイ」が満開になり秋の香りを運んでくれました。

銀木犀は控えめに咲いていますが、香りは金木犀と似ています。

秋の草花「ホトトギス」もそっと秋を告げています。

春を待つ「イチゴ」も楽しみです。

業務のなか十分な手入れは出来ませんが、見るひとの心を癒すお庭になればと皆で少しずつがんばっています。



〈2F〉《読めますか?》



日本には春・夏・秋・冬と四つの季節がありますが、近年では夏と冬しかないような気候が続いています。今年も長い長い夏が終わったと思ったら、急に寒くなりましたね。もう11月になったので、寒くなるのはあたり前なのですが……。

さて、たちばな苑の2階ではエレベーター横に、利用者様がリハビリの習字で書いた少し難しい漢字を掲示しています。その前を通る度に他の利用者様は、「どう読むんじゃったかな?」、「何となくわかるような気がするんだけど……?」等々、立ち止まっては読みの当てっこなどをしています。

書かれている漢字は秋にちなんだもので、右端は木になる果物、真ん中はリスなどの小動物の好物、左端は植物の種を守っているものです。皆さんは分かりましたか?……正解は右から、【いちじく】【どんぐり】【まつぼっくり】でした。このように、普段あまり目にしない漢字について色々な想像を巡らせてみるのも楽しく、良い脳トレになるなあと私たちも感じました。皆さんも普段の生活に取り入れてみてはいかがでしょうか。

看護職員 小林 貴美恵



〈3F〉《10月の松花堂弁当》



長く続いた夏も終わり、朝夕の涼しさに秋の訪れを感じられるようになった10月24日、たちばな苑では松花堂弁当の昼食でした。いつもとは違う特別な内容のお食事と共に、施設の中にも秋の訪れを感じられるようにと、管理栄養士さんが夜な夜な手作りで作った箸袋を添えて配膳した途端、利用者様達から「わぁ〜♡」「かわいい〜♡」「こんなのが出るんじゃねえ!」等の声。いつもは小食の方も、モリモリ召し上がられていました。秋桜やトンボがあしらわれた箸袋を見ながら食べる秋らしいお食事に、食欲の秋・芸術の秋を満喫された様子でした。食事の後、可愛い箸袋を皆さん持ち帰ったり飾ったりして楽しんでいます。いつも工夫を凝らしたお食事の時間を提供して下さる栄養科の皆様ありがとうございました。

看護職員 原 雅子

〈4F〉《4階の誕生日会》

たちばな苑4階では10月8日に誕生日会を開催しました。10月生まれの方にはなんと!御年96歳の利用者様がいらっしゃいます。職員より誕生日者様の紹介をさせていただき、その後ひと言頂きました。しっかりとした挨拶をして下さり、他の利用者様や職員から大きな拍手があったことがとても印象的でした。プレゼントを贈呈し、「ハッピーバースデイトゥーユー!」と皆様でお祝いの歌をプレゼントしました。おめでとうございます。

その後、少しでも楽しい時間が過ごせるようにと職員が「二人羽織」をしました。用意されていたのは……熱々のカップラーメン!箸で熱々のラーメンを掬い口へ運ぶはずが、口の場所が分からず類へ。「もう少し上、左」「頑張れー」と利用者様の応援する声を頼りになんとか口へ。「楽しかった」「また見たい」との感想をもらい、終始皆さんの笑顔を見ることができ楽しい会となりました。

暑い夏もあつという間に過ぎ、肌寒くなってきました。体調管理に気をつけ、利用者様と共に元気に過ごしたいと思います。

介護職員 新名 結衣



デイケアセンター

通所リハビリ

デイケアセンター運動会!!

今年も盛大に開催されました。赤組（なでしこデイケア）・白組（たちばなデイケア）にチーム分けをして競い合います。選手宣誓から始まり気合も充分です!!やはり白熱しますね～とても黄色い声が出て応援しています（職員が・・・!?）

途中、輪投げの輪の数が合ってなくてかなりのハンディになってしまったり（笑）、玉入れの鉄のリングを職員の頭に思いつきぶつけてしまったり・・・

（本当に痛かったと思います(-_-)）

ごめんなさい・・・

アクシデントも当然ありながらの楽しい運動会でした。

今年の優勝は・・・

白組でした。

来年は紅組頑張りますよ!!



宣誓!



王子様が白馬を制作してくれています!!

来年の干支は『午（うま）』ですよね。という事で白馬の製作に利用者様方ご協力してくれています。使わない椅子の廃材を利用して制作しています。

写真を見てください。白馬に乗った王子様が制作してくれています。（笑笑）

それ以外でも、皆様に持って帰っていただく午の置物も作っていますよ。



夏祭りも盛り上がりしました

デイケアでも夏祭りを開催しました。昔懐かしい金魚すくい、スイカ割り、学生を交えてのEXILEダンス（古いですが）・・・

今年の夏は本当に暑かったですが少しは涼しい思い出が出来たと思います。



押すなよ!

ときめきさ〜

押すなよ Ghoo Chhoo TRAIN~

デイケアでの日常生活

今までこの木もれ日でもデイケアでの作品作りをご紹介してきました。もちろん作品作りが不得意な方もいます。そんな方でもデイケアを楽しんでいただけるようなことも考えています。特に男性の方は将棋（かなりの腕前です）・囲碁・麻雀（これは女性も）・・・

今回はトランプの様子をご紹介します。たかがトランプ・・・されどトランプです。結構先を読んでいく必要がある為頭の体操には非常にいいですよ。（きっと…）



支援相談員 末次 博文

敬老会・レクリエーションの秋

9月15日ライフケアセンター内で敬老会の式典がありました。デイサービスに戻り、利用者様に粗品の進呈です。皆さまにとっても喜んでもらえ、職員一同嬉しく思っています。

ライフケアセンターには、附属の岡山済生会看護専門学校より実習生が実習にきています。デイサービスでは、3日間の実習があります。利用者様も実習生がいるととても楽しい時間を過ごし、何よりも会話が弾み、皆さまのお孫さまのような感覚になるようです。

そして、利用者様が一番楽しみにしているのが学生によるレクリエーションです。毎回思考を凝らし、利用者様も競争ゲームになると目の色が変わるほど楽しめます。

利用者様のいつもと違う表情が見れて、私たち職員も驚くこともあります。

これからも利用者様に喜んで頂けるように思考を凝らして頑張っていきたいと思っています。





特別養護老人ホーム

憩いの丘の秋は行事が盛りだくさん

ようやく秋らしくなってきました。芸術の秋、読書の秋、食欲の秋…。

憩いの丘の秋は…？ 行事の秋！

白ゆり保育園の園児による太鼓の演奏会に始まりサツマイモ掘り、二宮竈神社の神輿…。そして今回ご紹介するのは10月27日に開催されました岡山市立蛭明小学校の4年生の児童による蛭明太鼓の演奏会です。



屋外での演奏を予定しておりましたが、気温等を考慮して屋内での演奏に変更となりました。当日は秋晴れで児童の皆さんのことを歓迎しているかのようでした。

入所者の皆さんは児童の到着を今か今かと待っており、我先にと会場に向かわれました。

演奏が始まると太鼓の音の大きさに吃驚！孫やひ孫を見るかのような眼差しで嬉しそうに太鼓の演奏を聴いていました。演奏後には「すごかったなあ」「上手だったよ」「来てくれてありがとうよ～」などの感想が聞かれました。

児童は12名と多くはなかったですが、人数を感じさせない力強い演奏で入所者だけではなく職員も元気をもらいました。また来年も蛭明太鼓の演奏を聴かせてもらえるのを楽しみに待っております。蛭明小学校の4年生の皆様、関係者の皆様とても素敵な時間をありがとうございました、感謝。

今年もあと2か月…子供たちからパワーを貰い元気で過ごせそうです。

介護職員 川崎 祥子



令和7年8月3日(日) 高田地区ふれあい夏祭り

令和7年8月3日(日)高田地区ふれあい夏祭りへ職員数名で参加し、盆踊りを地域の方と一緒に踊りました。コロナ渦で夏祭りが中止となり、地域のお祭りへ参加する機会は久しぶりでした。盆踊りの踊り方も忘れており、事前に会場で婦人会の方に指導を受け参加しました。地域に伝わる伝統的な東西踊りなどもあり難しく感じましたが、地域の方々と楽しく輪になり踊ることが出来ました。夏祭りは盛況で子供さんから年配の方まで沢山の方が楽しまれており、婦人会や青年部の集まりによる出店も様々あり賑わっていました。最後に花火が打ち上げられ見応えがありました。コロナの影響で地域の方との交流も少なくなりましたが、久しぶりに顔を合わせ交流することができました。今後も交流を続け、地域の方から信頼して頂ける施設として事業を継続できるよう努めていきたいと思います。



生活相談員 高田 美貴子

令和7年10月3日(金)“秋華火!豪華200発!!!”を盛り上げる巨大うちわ



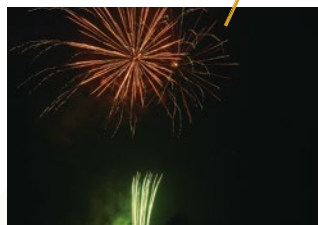
入所者の方々が楽しみにされている、憩いの丘の花火。当日は残念ながら雨予報
そこで、入所者の方々と盛り上げようとデイサービスセンター利用者の方々と巨大うちわを制作する事にしました。

巨大うちわの骨組みに頭を悩ませ、試行錯誤を重ね完成。最高齢の利用者（98歳）の方が朱色を塗り、巨大うちわの骨組みが出来ると他の利用者の方が紐を張り飾りを作ってくれました。

完成したうちわの面に、利用者の方々に一画ずつ筆で“祭”と職員は“憩”と書く事にしました！利用者の方は「手がふるうので書けん」「筆が持てん」「どんな字で〜」「あんた書かれ〜」など言われてましたが、新聞に書いて練習が始まり「私が一番に書くわ〜」と一人の利用者が書かれると次々に一画ずつ書き、躊躇される利用者の方には「私が手を持ってあげる」「一緒に書こう」「書くところを教えてあげる」と皆さんが協力し助け合い立派な“祭”が完成しました。

拍手が起こり「えーのが書けたなー」とVサインでした。職員もそのパワーをもらい“憩”を皆で完成させました。当日は予報通り雨でしたが、室内でお披露目でき入所者の方々が喜んでくださいました。

憩いの丘デイサービスセンター リーダー 上田 悦子





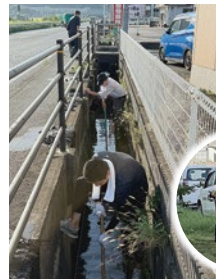
介護老人保健施設(ユニット型)

「溝掃除と草刈り」



9月6日(土)地域貢献の一環として溝掃除と草刈りを行いました。早朝は少し涼しくなってきたとは言え、まだまだ暑くて、みんな汗だくで黙々と頑張りました。終了後は恒例の記念撮影をパシャリ。クエン酸入りの水分補給もして、程よい疲れと達成感でした。

管理栄養士 谷口 直美



敬老の日

特別弁当

“9月15日敬老の日”に厨房で特別なお弁当をこころを込めて作りました。開けた瞬間に「わ～♡」という喜びの声がきこえ、とてもうれしく思いました。ボリュームも多めでしたが皆さんペロリと召し上がられました。



加茂地区愛育委員さんによる朗読と歌のボランティア

加茂学区愛育委員の皆様がボランティアで朗読「偵子の折り鶴」と、踊り「マツケンサンバ」を披露してくださいました。

集まった利用者様たちは、朗読を熱心に聞かれ、マツケンサンバ♪では楽しそうに、一緒になって手を振って踊られました。

敬老の日の楽しいひとときゆ加茂学区愛育委員の皆様、ありがとうございました。



オーレッ!!



デイケアクレープづくり

9月15日、デイケアの利用者様とクレープを作りました♪

まずは生地作り。昔?!「ながし焼」を作った経験があるそうで、みなさんお上手!生地を焼いている横でフルーツを切っていただきワイワイ作業が行われます。

その後クレープの食べ方のレクチャーを受け、いよいよ実食♡思い思いのトッピングをのせペロリ♡と召し上がっておられました。2セット召し上がられた強者も(笑)。

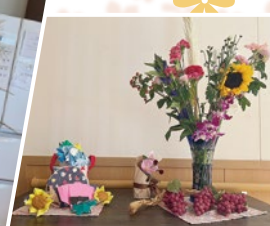
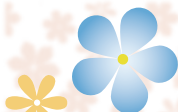
お腹いっぱい思い出いっぱい楽しい敬老の日となりました(祝)



入所 ユニットのお祝いのお花紹介

各ユニットの玄関やリビングルームに、職員が心を込めてお花をかざり敬老の日をお祝いしました。

それぞれ個性があり、とても素敵なアレンジでした。利用者様へお祝いの気持ちがきっと届いたと思います。



事務職員 柏野 恵里

秋の子供神輿

10月12日（日）に備中荘の入所者様が心待ちにしている行事の一つ、子供神輿が今年も備中荘までやってきました。今か今かと入所者様は玄関前でスタンバイOK!! 遠くから聞こえる子供たちのワッショイ! という掛け声に入所者様の興奮もMAXに! 満を持して神輿が登場すると、普段はあまり話をされない入所者様が子供に手を伸ばし「こっちにおいで」と良い笑顔で話しかけられていました。子供の力は本当に偉大です。獅子に頭を噛んでもらい健康を願い、子供たちからしっかり力をもらうことの出来た入所者様は「来年まで元気であらんといけんな〜」と決意も新たに神輿を見送り、今年の子供神輿もお開きとなりました。 介護職員 藤岡 麻由子



まほろば祭り 高松城址にて

10月26日、コロナで開催中止となっていた「まほろば祭り」。今年は復活となった第1回目でした。備中荘は吉備病院と合同で出店させていただきました。内容は健康相談、介護相談、血圧測定、喫煙度測定、骨の健康度測定、こどもロコモ評価、ロコモ度評価でした。(全て無料)

幅広い年齢層の方がご来場され、ブースには61名の方が来ていただきました。

これからも地域とのつながりを大切に各種イベントへ積極的に参加していきたいと思えます。

事務職員 市川 浩司



ハロウィン手作りおやつ

10月31日ハロウィン “かぼちゃお化けのミニモンブラン” と、食べられない方には“かぼちゃプリン”を日清医療食品スタッフが、一つ一つ心を込めて作りました。

かぼちゃはピーナッツかぼちゃを使用したので、普通のかぼちゃより甘くてクリーミーにできました。お化けの目玉もカラフルにでき、「あら〜目が付いてるわ。ハロウィンじゃけんじゃな〜」と喜んでいただきました。

管理栄養士 谷口 直美



デイケアの作品紹介

秋の気配が感じ始めてきました。デイケアでは、利用者様が、自宅で大事に育てられたお花を持ってきてくださっています。ススキ、フジバカマ、キンモクセイ、リンドウ、菊等。

花の名前なに? と利用者様に聞かれることが多く、持参して頂いた利用者様にお伺いしたり、他の利用者様が教えてくださったり、花の近くにメモを付けて分かるようにしています。

「フジバカマ（七草の1つ）は、淡紅色の花を咲かせて、アサギマダラ蝶々が、花の蜜を吸いに近づいてくるんよお!」とスマホの写真も見せて頂きました。とても綺麗な蝶々でした。

秋の七草を、皆さんで1つずつ自然に何があったかなあ? と思い出してもらいました。「ススキ、おみなえし、ききょう、フジバカマ、はぎ、あと2つ分かんないなあ〜と。」なでしこ、くず、がわかり皆さんスッキリされていました。

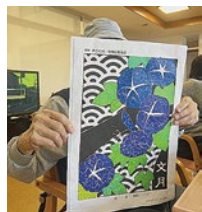
皆さんの持参された花や、備中荘の庭の向日葵、コスモスを合わせて生け花にも取り組んでもらい、玄関やデイケア内や洗面台等に飾らせてもらっています。生けた利用者様の自信につながり部屋も明るく華やかになっています。何より花の事から色んな会話はずんでおられます。

他の利用者様は、朝顔のちぎり絵に挑戦され、葉や花の色あいや細かい線まで折り紙で表現し、完成されたものは、素晴らしいのでデイルームに飾らせてもらっています。

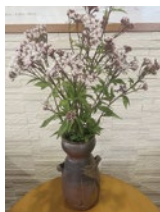
10月中頃の今は、朝顔を引き続き作ったり、もみじの作品を作ったりしていて、職員も完成を楽しみにしております。

また、別の利用者様には、ハロウィンが近いことから、紅葉した葉とカボチャをカップの中に好きなようにさし込んで小物作りをして頂きました。中には、目のついたカボチャがあったりして色々な表現があり、個性豊かな作品が勢ぞろいしています。

これからもデイケアで楽しく過ごしながら、出来る事を増やしていただけたらと思っています。



朝顔のちぎり絵



フジバカマ



ハロウィン工作

介護職員 遠藤 直美

宇垣荘夏祭りが開催されました



今年の宇垣荘夏祭りは、感染対策の影響で1度の延期を挟み9月8日（月）に開催されました。「9月に夏祭り？」と若干不思議な感じもありましたが、今年の夏はいつまでも暑く、そして皆様の熱気も加わり、十分に夏を感じることが出来ました。

まずは、当日に備えしっかり練習した盆踊りです。輪に入って踊られる方、ちょっと恥ずかしそうにされる方、昔を思い出しながら「えっ！？踊りの先生ですか？」と確認したくなるような方。前で踊るのは難しくても、座ったままや、しっかり太鼓を叩きリズムをとって下さる方。それぞれのスタイルで参加する事が出来ました。



続いては、スイカ割りです。今年はデイサービス職員お手製スイカを使用しました。生産（制作）者からの声を披露した後、早速目隠しです。皆様の応援を受け、きれいにパッカーン！そして、あまりの勢いに棒がボキッ！！と真っ二つになるアクシデントもありましたが、スイカと一緒に「はい、チーズ」。皆様素敵な笑顔でした。

最後は、職員の登場です。数年ぶりに開催したかき氷早食い競争。冷たさと痛みに耐えながらの挑戦です。皆様の応援の結果、優勝はダントツで施設長でした。

皆様にはご心配をおかけしましたが、今年も無事夏祭りを開催する事が出来ました。ありがとうございました。さて、次は何をしましょうかね～。

デイサービス産のスイカです



もっと左、左…♪

きれいに割れました

笑顔があふれた1日でした



みんなで「はい、チーズ」



皆、頑張れー！！

生活相談員 國富 由香里

笑顔あふれる秋の大運動会

秋のさわやかな風が吹く中、10月10日(金)に毎年恒例の「秋の大運動会」を開催しました。

小規模、デイサービス、特養1階、特養2階のチーム分かれての対抗戦に、皆さん気合い十分。会場は開始早々から熱気に包まれました。

まずは玉入れ競争。掛け声とともに次々と玉を箱に投げ入れ、箱いっぱいになるたびに大きな拍手と歓声が上がりました。

続いては風船渡しゲーム。風船を新聞紙に乗せて隣へと慎重にリレーします。落ちそうになる風船にハラハラドキドキしながらも、皆さん笑顔で協力し合い見事なチームワークを見せてくださいました。

後半には職員による飴玉探しと借り物競争も行われ、顔を真っ白にしながら奮闘する姿に大きな笑いが起こりました。

パン食い競争では思わず笑みがこぼれる場面もあり、会場中が和やかな雰囲気に包まれました。

今年の運動会も笑顔と笑い声が絶えず、皆さんの元氣と絆を感じられる一日となりました。

介護職員 大西 秋奈



ハチマキで気合いパッチリ!!



小規模多機能型居宅介護事業所

子供神輿で地域交流!笑顔あふれる一日を

秋が深まり、朝晩の空気がひんやり感じられる季節となりました。日中は穏やかな日差しに包まれ、澄んだ青空が心地よく感じられるところです。

今年も10月13日(月)毎年恒例の子供神輿の訪問がありました。子供たちが元気いっぱいに神輿を担ぎ町内会と保護者の方々が付き添いで当施設を訪れてくださいました。

威勢のいい掛け声とともに練り歩く子供達の姿はご利用者様の皆様に大きな喜びを与えてくれました。子供達の活気ある姿に多くの利用者が笑顔になり手拍子を送っていました。昔ながらの祭りの雰囲気を感じ「昔を思い出すわ」「元気が出るな」と話しをされていました。そして利用者様も順番に太鼓を打ちました。しっかりリズムをつけて打たれ、最初は「私はで出来んわ」としり込みをしていた方も顔を赤らめて打っていました。「〇〇さん上手じゃったが」とお互いに褒められていました。

最後は笑顔で集合写真も撮ることもでき、地域の方々との交流を深める時間となりました。

子供達が施設を訪れることで利用者様にとって刺激となり日常に彩りを添える事ができました。

今後とも地域との連携を取り、皆様に喜んでいただける企画を続けていきたいと思います。



介護職員 松浪 たづ子

養護老人ホーム(一般型特定施設)

玉松園祭

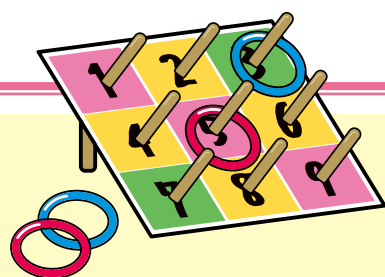
10月18日に玉松園の一大イベントとなる玉松園祭を開催しました。去年までは入所者のみを対象として開催していましたが、コロナが5類に引き下げられたことで今年からはコロナが流行する以前に少しずつ戻していこうということで、6年ぶりに入所者のご家族・近隣住民の方々を招待しての開催となりました。

1階では屋台・バザー、2階ではゲーム・カラオケ大会を行いました。屋台ではたこ焼き・大判焼き・フランクフルト・ハッシュドポテト・アイスクリーム・飲み物の提供、バザーでは様々な方から提供していただいた服やタオルを100円から300円で販売、ゲームでは紙飛行機を作成し入れる形式で行いました。



当日私は受付を担当していました。ゲームやカラオケを楽しまれた方やバザーで袋いっぱいを買ってくださった方、お一人で屋台を目的として来ていただいた方など様々な人が来られました。入所者・ご家族の方からは「ご飯を食べながらゆっくり話せて良かった」と言ってもらえたことや、地域の方から帰られる際に「美味しかった!」や「安くていっぱい買った!」、「楽しくなって3曲歌った!」、「6年ぶりですね、また来られて良かったです」などのお言葉をいただき、地域やご家族の方との関係をこれからも大切にしていきたいと改めて感じました。

事務職員 岸本 淳也



五園合同輪投げ大会!

10月22日、毎年恒例の岡山市養護老人ホーム5園の輪投げ大会に行ってきました。

昨年同様、園長を始め、入所者の中から選ばれた有志5名、職員3名での参加です。



入所者の方々は、日頃から「優勝せにゃ〜おえん。」との声をあげて、限られた中での練習を、連日されておられました。時折、職員も練習に参加した時には「そんなんじゃ〜おえん。毎日練習に来んと勝てりゃ〜せんで。」と辛辣な声を浴びつつ、取り組みました。

さあ〜! いざ本番です。今年は、都合により1園が不参加となり、4園での開催です。まずは、入所者の有志から開始です。シュッと投げると、的棒に面白いように刺さって行きます。応援にも力が入ります。休憩を挟み、入所者の次に職員の番です。的棒には……。刺さりません(涙)。

結果は…。入所者団体の部。1位。男性の部。個人1位と3位。女性の部。2位と素晴らしい結果となりました。



職員は…。聞かないで下さい…(泣)。一生懸命頑張りました。

来年は、ここ玉松園での開催が決まっています。来年も、優勝目指して頑張ろうと、入所者、職員一同決意した1日でした。

介護職員 重利 徹

御津金川の氏神さま 七曲神社 秋季例大祭(はなよ～神輿～獅子舞)

施設が立地する地域には、地元の氏神様として古くから信仰されている七曲神社があります。10月は秋季例大祭でお神輿や獅子舞が地域をまわりました。御津地区に伝わる獅子舞は、この神社を中心に江戸時代から続く伝統芸能となっています。なかでも赤や青の衣装を纏った人々が赤く鼻の長い天狗の面をかぶり、笏を持って歩いて、悪霊を払い清めまわるといふ風習「はなよ」があります。

「はなよ」という風習は、七曲神社に祭られている猿田彦大神が天狗の姿となって現れたものと考えられています。天狗の鼻が男性の象徴とも言われ、若い女性を追いかけ、板でお尻を叩くことで、将来、丈夫な子供が産まれるようにと子孫繁栄の願いが込められています。この風習は、一時期衰退していたようですが、地域を盛り上げようとプロジェクトメンバーが中心となり、数年前、40数年ぶりに復活、神社の例大祭にあわせて行われています。



「はなよ」の後は、お神輿がまわってきました。担ぎ手として、神社近くに住む地域の子どもたちや岡山県立岡山御津高等学校の高校生有志が参加していました。「わっしょい…」と大きな掛け声を出しながら、地域の中を巡っていました。目の前で見ていた入所者からは拍手が起こり、神輿を担いでいる高校生や子供たちに向けて「頑張れ!」「ありがとう!」と声をかけていました。



そして、最後にやってきたのが獅子舞です。神社から2匹の獅子が、地域の家庭を一軒一軒まわった後、施設にやってきました。施設に到着すると、そのまま玄関まで入って下さり、入所者の頭を優しく噛んで下さいました。

その後、施設前にて獅子の演舞を施設周辺の住民の皆様、玉松園入所者と一緒に鑑賞させていただきました。2匹の獅子が見せる舞をしっかりと堪能することができました。再び、獅子が舞を鑑賞していた入所者の頭を噛んで頂きました。昔から続く由緒あるお祭りを地域のみんなで楽しませて頂きました。

生活相談員 田村 嘉章

御津高校 来園



御津高校の生徒さんの来園は、ルネス学の授業で、ルネス学とは「生徒が自分を見つめ、地域や社会とつながる主体的に、生きる力を育てる」ことを目的にした探究型学習だそうです。

今年度になって、一回目と二回目は風船バレーと毛糸のほうき作り、三回目はキーホルダーを御津高校の生徒さんと一緒に作りました。10月14日の四回目の来園ではハロウィンパーティを計画して下さり、顔なじみの生徒さんの来園を楽しみにされていました。トランプとカルタを行い、入所者の皆様から「神経衰弱しょうや」「もう今覚えとったのに忘れたわ」「誰が一番たくさんとれたかな」「昔しょうたけど、久しぶりじゃ」と会話も弾みやる気満々で生き生きしていました。その後お菓子とコーヒーで若い高校生と雑談され、楽しい時間はあっという間に過ぎました。「また来てね」と皆様でお見送りしました。御津高校の生徒の皆さん、また玉松園へ来てくださいね。

主任支援員 安藤 好恵



新しい仲間たち



我々の仲間入りしました。

①抱負、自己紹介等 ②趣味・特技・好きな言葉、音楽…



みなみがた荘

介護職員 宮地 みほ

①8月よりみなみがた荘へ勤務させて頂いております。長年の経験を活かして皆さんの笑顔が増やせる様な介護ができたらと思います。よろしくをお願いします。

②神社仏閣巡り、温泉地巡り
(皆様穴場があれば教えて下さい。)



なでしこ苑

看護職員 上田 記世

①9月よりなでしこ苑で勤務させて頂いております。1日でも早く業務に慣れるように努力していきたいと思います。

②おかやまマラソンに4回チャレンジしています。晴れの国おかやま24時間100キロ歩行にもチャレンジしています。



宇垣荘

看護職員 機能訓練指導員 岸 安江

①8月より勤務させて頂いております。健康で利用者の方と一緒に運動(リハビリ)して行きたいと思っています。

②趣味：小物ソーイング



宇垣荘

介護職員 高原 佐和子

①10月より勤務させて頂いております。入居者様の安全で安心な日常のために丁寧な仕事を心がけたいと思います。

②趣味はミステリー小説を読むこと。



編集後記

木もれ陽



厳しい夏がいつ終わるのか気の遠くなる思いで待った秋の訪れは、10月になり急にやってきました。

10月13日には大阪万博も最終日を迎え、暑さにも負けず長い待ち時間を耐え楽しまれた方の入場者数は、過去最高2900万人突破とありました。

一方、私達の福祉施設でも各々盛りだくさんの行事を行い今回のページを飾っています。

“虫の音や金木犀の香りに秋の気配を感じる”そんな風情は失われつつありますが、植物は正直です。時期が来れば花を咲かせ、実を結び、熟して葉が枯れる。自然の力は素晴らしいといつも感心しますが、日本の四季は二季に変わる勢いで直ぐに寒い冬に向かいます。体調を崩さず心も体もしっかり充電して春を待ちましょう。

やよいの里・なごみ苑 植田 洋子

ライフケア：岡山市北区国体町3番12号 TEL086-252-2222 宇垣荘：岡山市北区御津宇垣2069-10 TEL086-724-0707
憩いの丘：岡山市北区日近1807 TEL086-295-1155 玉松園：岡山市北区御津金川123番地 TEL086-724-0058
備中荘：岡山市北区高松原古才600-5 TEL086-287-3332

福祉施設合同HP <http://www.okasaisei-life.jp/>